

2009-2

一次試験・筆記解答・解説

p.112~124

一次試験・リスニング解答・解説

p.125~142

二次試験・面接解答・解説

p.143~146

解答一覧

一次試験・筆記

1	(1) 2 (2) 2 (3) 4 (4) 1 (5) 3 (6) 1 (7) 1	(8) 4 (9) 2 (10) 2 (11) 4 (12) 3 (13) 4 (14) 3	(15) 1 (16) 3 (17) 3 (18) 2 (19) 2 (20) 1
2	(21) 5-2 (22) 3-4	(23) 4-3 (24) 1-5	(25) 3-1
3 A	(26) 3 (27) 2 (28) 1 (29) 4	3 B	(30) 3 (31) 2 (32) 4 (33) 1
4 A	(34) 4 (35) 2 (36) 3	4 B	(37) 3 (38) 4 (39) 2 (40) 1
4 C	(41) 1 (42) 3	(43) 4 (44) 1	(45) 2

一次試験・リスニング

第1部	No. 1 4 No. 2 3 No. 3 2 No. 4 1 No. 5 4	No. 6 2 No. 7 1 No. 8 3 No. 9 1 No.10 4	No.11 4 No.12 2 No.13 3 No.14 1 No.15 2
第2部	No.16 4 No.17 3 No.18 1 No.19 4 No.20 2	No.21 1 No.22 2 No.23 1 No.24 3 No.25 4	No.26 3 No.27 1 No.28 2 No.29 4 No.30 2

筆記

リスニング

合計

45

30

75

- (1) 一解答 ②
 訳 A: 君の高校のクラスの何パーセントが大学に進学したの, テッド?
 B: 正確にはわからないけれど, 半分以上だったと思うよ。
 解説 正解は percentage 「割合, パーセント」。B の ... over half という部分から, A の質問を推測する。quality 「質」, minimum 「最小量, 最低限度」, regulation 「規則, 規制」
- (2) 一解答 ②
 訳 ジムは外食をする機会がめったにないので, 両親が彼の誕生日にフランス料理のレストランに連れて行ってくれた時は大喜びだった。
 解説 正解は rarely 「めったに~しない」。... so he was excited 「...なので大喜びした」の理由になるように空所を考える。bravely 「勇敢に」, frankly 「率直に」, precisely 「正確に」
- (3) 一解答 ④
 訳 A: 調子があまり良くなさそうね, クリス。どうしたの?
 B: 寝不足なんだよ。期末試験の勉強で毎晩遅くまで起きているんだ。
 解説 正解は lack (of) 「(~の) 不足」。空所前の suffer(ing) from 「~に苦しむ, 悩む」は覚えておきたい。breeze 「そよ風」, shield 「盾」, theory 「理論」
- (4) 一解答 ①
 訳 学生自治会は最終的な結論を出す前に, その問題を何時間もかけて議論した。
 解説 「最終的な結論を出す前に」(before finally making a decision) やることは何かを考える。正解は debated 「~を議論した」。require 「~を必要とする」, lecture 「~に講演をする」, trust 「~を信頼する」
- (5) 一解答 ③
 訳 カールは工場での仕事を楽しんでいるが, 賃金がとても低い。だから, もっと給料の高い仕事を今探しているのだ。
 解説 仕事が入っているのに給料が高い別の仕事を探しているのは「賃金がとても低い」(the wages are very low) から。pay 「給料」も覚えておきたい。fine 「罰金」, receipt 「レシート, 領収書」, tax 「税金」
- (6) 一解答 ①
 訳 A: この曲はすごくいいですね。とてもドラマチックです。
 B: 誰が作曲したのかははっきりしませんが, 作曲した人はドイツ人だったと思います。
 解説 正解は composed 「~を作曲した」。後続の it は空所に入る動詞の目的

語で, this piece of music「この曲」を指す。determine「～を決定する」, manage「～を何とか成し遂げる」, construct「～を建設する」

(7) — 解答 ①

訳 80年前に私たちの町が飢饉^{きん}に見舞われたと、私の祖母は教えてくれた。何週間もの間、食べるものがなく、数多くの人々が死んだ。

解説 正解は famine「飢饉」。第2文の内容が正解のヒント。demonstration「デモ、示威運動」, prediction「予言」, investment「投資」

(8) — 解答 ④

訳 昨日、ロバートは小さな箱に入ったおもちゃを甥^{おい}に送ることにした。彼はテープで包みに封をし、それを郵便局に持って行った。

解説 「テープを使って」(with some tape), 「包みに封をした」(sealed the package) とつながる。praise「～を称賛する」, greet「～を歓迎する」, roast「～を焼く、あぶる」

(9) — 解答 ②

訳 A: 今晚のパーティーにジーンズはふさわしくないと思うわ、ミッシェル。もう少しフォーマルなものはないの？

B: わかったわ、母さん。着替えてくる。

解説 Aの発言の後半にある「もう少しフォーマルな服装にしたらどうか」という趣旨から、前半はジーンズが「適切な」(appropriate) 服装ではない、となる。superior「優れた」, extensive「広い」, ignorant「無知な」

(10) — 解答 ②

訳 当初、デビーの両親は彼女にトルコ旅行へ行行ってほしくないと思っていたが、デビーはそれが自分にとって良い経験になるのだということを、最終的に両親に納得させた。

解説 convince は問題文のように〈convince + O(人) + that 節〉「Oに(that 節の内容)を納得させる」の形でよく使用される。examine「～を検査する」, restrict「～を制限する」, substitute「～に置き換える」

(11) — 解答 ④

訳 A: ねえあなた、中古車と新車のどちらを買ったらいいと思います？

B: そうだね、中古車の方が故障しやすいな。中古車を買ったら、結局修理にたくさんお金を使うことになるかもしれないよ。

解説 end up doing「結局～することになる」という句動詞を使う。空所後が spending a lot of money on「～にたくさんのお金を費やす」と-ingの形になっていることに注目。

(12) — 解答 ③

訳 空港でジェニファーは両親にさようならを言った。そして彼女は泣きだして、最後にもう一度両親に抱きついた。

解説 burst into 「突然～しだす」。正解の burst into tears のほかに burst into laughter 「どっと笑いだす」もよく使われる。come to light 「明るみに出る」, keep in touch 「連絡を取り合う」, lose one's way 「道に迷う」

(13) - 解答 ④

訳 A: ニューヨークの暮らしを楽しんでいますか, スンダー?

B: ええ, おおかたは。でも時々インドの家族が恋しくなります。だいたい週に1回家族に電話しています。

解説 正解は at times 「時々」。空所を含む文が But で始まっているので, その前の Yes, mostly. と対照的になる表現を考える。with ease 「容易に」, in advance 「前もって」, on purpose 「故意に」

(14) - 解答 ③

訳 海を見るとウィリアムは, ほとんど毎日浜辺で遊んだ子ども時代をいつも思い出す。

解説 remind A of [about] B 「A(人)にBを思い出させる」。ほかに remind A to do 「A(人)に～することを思い起こさせる」, 〈remind A + that 節 / wh- 節〉 「A(人)に～ということを思い出させる」。

(15) - 解答 ①

訳 ロンドンからパリへ向かう列車は大雪のため1時間以上遅れた。

解説 bound for 「(列車などが)～行きの」。行き先を示すには train for Osaka のように for を用いたり, northbound 「北行きの」のように -bound を複合語として使ったりする。due to 「～のために」, owing to 「～のせいで」

(16) - 解答 ③

訳 ジルは自分の新しいアパートを友人たちに見せびらかしたいので, 今週末パーティーを開く。

解説 show off her new apartment 「彼女の新しいアパートを見せびらかす」となる。4 over の場合は 〈show + O₁ + over O₂〉 「O₁(人)にO₂(場所)を案内する」となるので注意。show up 「～を目立たせる」

(17) - 解答 ③

訳 A: 待たせてごめんなさい, アダム。

B: 気にしないで, リズ。僕は急いでないから。ゆっくりやってよ。

解説 take one's time 「ゆっくりやる」という表現を用いる。B の I'm not in a hurry. がヒント。keep time 「時間を記録する, (時計が)時を刻む」, make time 「(遅れを取り戻そうと)急ぐ」

(18) - 解答 ②

訳 そのホラー映画のいくつかのシーンがとても暴力的だったので, ダンは自分の手で娘の目を覆った。

解説 put his hands () his daughter's eyes の部分だけを見ていては答えられない。文脈が正解を導く鍵で、前半の内容から、目を「覆うように」(over) 手を置いたのだと判断しよう。

(19) - 解答 ②

訳 A: あなた、天井が終わったら台所の壁にもペンキを塗ってもらえない?
B: いいとも、サラ。

解説 Would [Do] you mind *doing* 「～していただけますか」は丁寧な依頼表現。Would [Do] you mind my [me] *doing* 「～してよろしいですか」と許可を求める表現も併せて覚えておこう。

(20) - 解答 ①

訳 A: すべて説明したと思いますが、それでももしも新しいソフトウェアで助けが必要でしたら、どうぞ私に知らせてください。

B: ありがとう、リチャーズさん。

解説 if A should ... 「万一 A が…なら、仮に A が…なら」は、可能性はあるがあまり起こりそうにないときに用いる。なお、例えば Please inform me should you have any questions. のように主語と助動詞の語順を倒置して if を省略することもある。

一次試験・筆記

2

問題編 p.95

(21) - 解答 ⑤ ②

正しい語順 but it was far from cheap

訳 A: あなたの新しい自転車はすてきね、トム。

B: ありがとう。これを買ってとてもうれしいんだ。でも決して安くはなかったよ。買えるだけの十分なお金ができるまで、長い間節約しなければならなかったんだ。

解説 空所の前にカンマ (,) があり、「空所内には2文をつなぐ接続詞が必要らしい」と考えて、3 but it で始める。Bの後半から bike が高額だったとわかるので、far from cheap 「決して安くない」と並べる。

(22) - 解答 ③ ④

正しい語順 Given a choice between French fries and

訳 フライドポテトかサラダかの選択肢を与えられれば、フィオナは必ずサラダを選ぶ。彼女はできるだけ多くの機会に健康的な食べ物を取ろうとしているのだ。

解説 空所からカンマまでの部分が、カンマ以降の主節にどうつながるかを考える。Given で始まる受け身の分詞構文だと見抜けるかがポイント。a choice between A and B 「A か B かの選択」の形となる。

(23) - 解答 ④ ③

正しい語順 There is little doubt that

訳 その地域で一番の学校はリバーサイド高校であることは、ほとんど疑問の余地がない。優れた学習のカリキュラムがあり、スポーツのチームはたいいてい好成績を収めている。

解説 There is little doubt that ... 「…であることには疑問の余地がほとんどない」の構文を知っていればすぐわかる。little の代わりに no や some が入る構文になることも多い。

(24) - 解答 ① ⑤

正しい語順 could not be sure of getting

訳 旅行代理店の店員はチャールズに、座席の残りがほとんどなくなってきたので、早く飛行機の搭乗券の予約をするようにと言った。彼女が言うには、これ以上チャールズが引き延ばすと、彼が席を得られるかどうかはわからない、とのことだ。

解説 could not に続く動詞は原形でなければならず、それは 1 の be しかない。can be sure of *doing* 「きっと～できる」という表現を活用して could not be sure of getting ... 「(席が) 取れるかどうか定かでない」という意味にまとめる。

(25) - 解答 ③ ①

正しい語順 Although she remembered having met

訳 A: 昨晩のパーティーでは誰か新しい人に会った、ピーター?

B: そうだね、アマンダっていう名前の女性がいたよ。彼女は以前僕と会ったことがあるのを覚えていたんだけど、僕は彼女のことを全く覚えていなかったんだ。本当にばつが悪かったよ。

解説 4 の although から空所は主節に逆接する副詞節の一部だとわかるので、まずこれを先頭に立てる。次に remember *doing* 「～したのを覚えている」の構文を活用。remember の目的語の動名詞として、経験を表す完了形 having met を続ければよい。

一次試験・筆記

3

問題編 p.96~99

A 全文訳 自動食器洗い機

今日、アメリカ合衆国のほとんどすべての家庭に食器洗い機がある。皿洗いは伝統的に女性の仕事と考えられていたので、自動食器洗い機の発明者ジョセフィン・コ克蘭が女性であったことは、自然なことと言えるかもしれない。しかし意外にも、コ克蘭の狙いは自分がやらなければならない家事の量を減らすことではなかった。実際、コ克蘭は裕福なビジネスマンの妻だったので、家の食器はすべて使用人が洗っていたので

ある。彼女が抱えていた問題は、洗っている最中によく食器が破損するということだった。高価な食器をきれいにし、より安全な方法を、コ克蘭は見つけたかったのだ。

1839年生まれのコ克蘭は、エンジニアとしての訓練は一切受けていなかった。にもかかわらず、手で洗うよりも食器の破損が少ない食器洗い機の構造を、彼女は考え出した。この構造では、汚れた皿はかごに入れられ、石けんを含んだ高温の湯が吹きかけられる。この方法は食器を保護するだけではなく、はるかにきれいに洗うことができた。彼女の発明は1893年のシカゴ万国博覧会で賞を獲得し、またそれはとてもうまく作動したので、同じ基本設計が今日でもまだ使われている。機械の専門的な知識が全くない女性がそのような効果的な構造を考案したことに、多くの人が驚いた。

コ克蘭の存命中は、彼女が発明した食器洗い機は主にホテルやレストランで使用された。なぜならこの食器洗い機は高温の湯を大量に必要としたからである。自宅でそれほど大量の湯を使う余裕のある人はほとんどいなかった。また食器洗い機も高価で手が届かなかった。しかしホテルやレストランは、従業員の数を減らすことができたので、それを買うだけの価値はあると考えていた。その上、割れる皿やカップの数も少なくなった。1950年代には人々が自家用に食器洗い機を所有することも可能になり、それを製造する今日の主要メーカーの1つは、ジョセフィン・コ克蘭が100年以上前に創業した、その会社なのである。

(26) - 解答 ③

解説 空所後は「ところが彼女の狙いは家事の量を減らすことではなかった」と続くので、空所は Surprisingly「意外にも、驚いたことに」が最も自然。直後に though があり、その前後の内容は対照的になるはず。similarly「同様に」、usually「たいていは」、recently「最近は」

(27) - 解答 ②

解説 空所前の This は前文の食器洗い機の洗浄の仕組みを指している。but also 以下の内容をふまえて、This not only protected the dishes ... とする。replace「～に取って代わる」、provide「～を供給する」、decorate「～を飾る」

(28) - 解答 ①

解説 空所後の design が「食器洗い機の構造」を指していることを念頭に、come up with such an effective design「そのような効果的な構造を考案する」とすれば、amazed that ...「…に驚いた」に文脈的に沿う内容となる。official「公式の」、artificial「人工の」、educational「教育の」

(29) - 解答 ④

解説 空所を含む文の「高い食器洗い機を買う価値があると考えていた。なぜなら～」という文脈に合うように because it reduced the number of workers「従業員の数を減らせたから」と続ける。count「～を数える」、describe「～を述べる」、delay「～を延期する」

B 全文訳 より環境に優しい未来

2007年5月4日、カンザス州のグリーンズバーグという小さな町が大きな竜巻に見舞われた。3分の2以上の住民が家を失い、町の教会や学校のほとんどが破壊されてしまった。嵐に襲われる以前にすでに、グリーンズバーグでは仕事を見つけることがだんだん困難になってきており、町の人口は減少を続けていた。嵐の後、さらに多くの人々が町を去った。しかし残った人々の中には、町を再建するだけでなく、改善しようと決意した人たちがいた。彼らはそこをアメリカで最も環境に優しい町へと変える計画に思い至ったのだ。

その計画の基本となる考え方は、環境に対する負荷を最小限にした住宅を建てるというものだった。当初、住民の多くは、これには費用が掛かり過ぎるだろうと考えた。しかし、長期的に見ればエネルギー費用の削減により、新しい建物は結果的にはお金の節約になると計画の支持者が説明すると、この計画は住民にとって、より魅力的に映り始めた。可能な限りエネルギー効率を良くしようと、多くの住民が自分たちの家を建て替えることにした。さらに市当局は市役所や裁判所といった公共施設のすべてが、環境デザインの最高水準を満たすようにした。グリーンズバーグはこのことをアメリカで最初に実行した町になった。

この新しい政策は町の経済にも利益をもたらしているようである。グリーンズバーグに関する記事がメディアに現れるようになると、観光客が町を訪れ始めた。さらに、アメリカ政府はグリーンズバーグ再建を助成する資金を提供し、そして環境政策を支持するいくつかの大企業がそこに施設を建設することを決めた。地元の指導者たちは、世間の注目を集めたすべての結果として、より多くの企業や観光客が町にやって来ることを望んでいる。竜巻がなければ、グリーンズバーグはこのような方法で町を再建しようとは考えなかったであろう。しかし今、グリーンズバーグはアメリカで最も環境に優しい町として、より明るく豊かな将来を期待しているのである。

(30) - 解答 ③

解説 improve 「～を改善する」が正解。空所を含む文が not only ~ but ... 「～だけではなく…」の構文で rebuilt が使われていることや、次文の内容などから判断できる。purchase 「～を購入する」、rename 「～を改名する」、transfer 「～を移す」

(31) - 解答 ②

解説 計画は費用が掛かるとの住民の懸念に対し、エネルギーの費用を削減するので長期的に見ればお金の節約になると説明したのだから、計画は「より魅力的」(more attractive) に思えただろう。delicate 「細心の注意を要する」、private 「個人的な」、temporary 「一時的な」

(32) - 解答 ④

解説 空所を含む文は段落冒頭に当たり、その段落の要旨を述べている。続く詳細な説明は、新しい政策が町の「経済」(economy) に利益をもたらしている事例であることがわかる。border 「境界」、memory 「記憶」。

culture「文化」

(33) - 解答 ①

解説

第3段落前半にある、町がメディアに紹介され観光客・政府・企業がこれに反応した事象を、public attention「世間の注目」と要約している。
health「健康」、silence「沈黙」、access「アクセス、接近（方法）」

一次試験・筆記

4

問題編 p.100~105

A 全文訳

発信人：ケイト・スティーブンス <katestevens@wphvtvhome.com>

宛先：ジョゼフ・ブラッドストック <j-bradstock@newstepmail.com>

日付：2009年10月18日

件名：『マーティン・ジョーンズ・ショー』でのインタビュー

親愛なるブラッドストック様、

昨日あなたと電話でお話してきたことをうれしく存じます。来週のWPHVの『マーティン・ジョーンズ・ショー』へのゲスト出演に同意していただき、ありがとうございます。電話であなたとお話した後、マーティンが私に言うには、あなたの著書の『キャリントン事件』についてあなたと話すのを楽しみにしているとのこと。長い間自分が読んできた中で最高のミステリー小説だと、彼は申ししておりました。

インタビューは10月23日金曜日、少数の観客の前で録画されます。それからインタビューを編集し、10月25日に番組が放送されます。収録は金曜日の午後7時から始めますが、スタジオに1時間前にはお越しください。その間に当方のスタッフがあなたの支度をお手伝いいたします。お顔にメイキャップを施し、服にマイクを取り付けさせていただきます。マーティンはリハーサルを行うことはありません。インタビューをできる限り自然なものにしたいからです。

テレビのトーク番組に出演するのは初めてだとおっしゃっていましたが、インタビュー中はどうぞリラックスなさってください。視聴者はあなたの著書のことを聞きたがっていますが、あまり詳細を明らかにし過ぎないように気を付けてください。結末を聞いてしまったら苦情を言うてくる人もいられるかもしれません。

お会いできるのを楽しみにしております。

敬具

ケイト・スティーブンス

プロデューサー、WPHV

(34) - 解答 ④

質問の訳 昨日、マーティン・ジョーンズは

選択肢の訳 1 自分の著書について話すためブラッドストック氏に電話をかけた。

- 2 自分のテレビ番組で小説家にインタビューをした。
- 3 ケイト・スティーブンスが書いたミステリー小説を読んだ。
- 4 『キャリントン事件』を楽しんだと言った。

解説 本文第1段落第1文で発信人本人と Bradstock が昨日電話で話したこと、第3文でその電話の後、Martin Jones が *The Carrington Affair* のことを話すのを楽しみにしていると言ったこと、続く文で Martin がその本を気に入ったことがわかる。Eメールのヘッダーと第1段落から Martin Jones と Joseph Bradstock が誰であるか見当をつけたい。

(35) - 解答 ②

質問の訳 金曜日のインタビューの前に起こることの1つは何か。

- 選択肢の訳**
- 1 『マーティン・ジョーンズ・ショー』の編集版が放送される。
 - 2 ブラッドストック氏が番組の準備をするのをスタッフが手伝う。
 - 3 ブラッドストック氏とほかのゲストのためにリハーサルがある。
 - 4 マーティン・ジョーンズが観客とのインタビューを録画する。

解説 本文第2段落にある、収録当日の段取りをしっかり把握しよう。特に第3~4文 ... please arrive ... an hour earlier. That will give our staff time ... のつながりに注目。また、[英文] prepare → [正解肢] get ready の言い換えにも注意。

(36) - 解答 ③

質問の訳 ケイト・スティーブンスがブラッドストック氏にアドバイスしているのは

- 選択肢の訳**
- 1 インタビュー中に彼の著書の一部を音読すること。
 - 2 観客に見せるために著書を1冊持って来ること。
 - 3 彼の著書のストーリーを視聴者に話し過ぎないようにすること。
 - 4 それまでトーク番組に出演したことがないと視聴者に伝えること。

解説 本文第3段落第3~4文から正解がわかる。[英文] give away too many details → [正解肢] telling viewers too much about the story の言い換えに注意。初出演については「リラックスして」というアドバイスしか書かれていないので、4は誤り。

B 全文訳 騒がしい海

2000年のある日、カリブ海のバハマ諸島で不思議なことが起こった。数多くのクジラが浜に打ち上げられたのだ。助けられたクジラもいたが、6頭が死亡した。後にアメリカ政府は、アメリカ海軍によるソナーの使用がこの原因であることを突き止めた。ソナーとは、海面下にある物体を見つけるために海中に音波を送るシステムである。この音がクジラの聴覚に変調を与え、クジラがパニックに陥り、その騒音から逃れようとする原因となったのである。それ以来、同様のケースが数多く報告され、今日では環境保護団体がソナーの使用を制限しようと奮闘している。

しかし科学者たちによれば、海でのトラブルの原因となっている音はソナーだけでは

ないということだ。2003年にカリフォルニア近海で行われた調査では、人間が海の中で多くのいろいろな種類の騒音を出していることがわかった。例えば石油会社は海底の石油の源泉を探すためにダイナマイトを使う。しかし騒音の大部分は、世界中に商品や人々を運ぶ船舶の数が増え続けていることによってもたらされている。調査では海面下の騒音レベルは1960年代に比べて10倍も高くなっていることがわかった。

こうした騒音はすべて、海の生物に対して悪影響を及ぼしているのではないかと、科学者たちは危惧している。海の暗闇の中では、魚も海洋ほ乳類も、共に音を使って周囲に進むべき道筋を探し出す。人間が作り出す騒音により、こうしたことが困難になる。この問題の現れの一つが、クジラやそのほかの動物が船に衝突するケースが増えていることで、これはおそらく動物たちが混乱してしまったからであろう。もう一つの現れは、自分たちが何千年にもわたって家族を養育してきた場所を去ってしまうクジラが出てきているということである。

もちろん、自然の中にも騒音は存在するが、カリフォルニア州にある海洋保全研究所のマイケル・ストッカーによれば、人間の活動により生じる音は、自然が出す音よりもはるかに大きなストレスを与えるのだ。彼によれば、この問題を解決する一つの方法は、その音を動物への害がより少ないものに変えることである。しかしまず最初に、われわれが海中に放出する音の量を制限すべきだと、彼は言う。

(37) - 解答 ③

【質問の訳】 2000年にバハマ諸島で、

- 【選抜肢の訳】
- 1 アメリカ海軍が海洋を探索するためにクジラを利用し始めた。
 - 2 環境保護団体が新種のクジラを発見した。
 - 3 アメリカ海軍が使用したソナーのせいで何頭かのクジラが死んだ。
 - 4 新しいソナー装置が迷子のクジラを見つけるために使用された。

【解説】 正解の鍵は第1段落前半にある。第1文 something strange (「不思議なこと」とは何?) → 第2~3文 whales landed ... died (「クジラが浜に打ち上げられて死んだ」のはどうして?) → the cause was the U.S. Navy's use of sonar というように、文脈をしっかりと追っていこう。

(38) - 解答 ④

【質問の訳】 2003年の調査で明らかになったことの1つは何か。

- 【選抜肢の訳】
- 1 石油会社は騒音のより少ないダイナマイトを探している。
 - 2 ソナーは人間が出す音でクジラが聞き取れる唯一の音である。
 - 3 カリフォルニア近海はほかの海域よりも10倍、騒音がひどい。
 - 4 海中の騒音の大部分は船舶に原因がある。

【解説】 第2段落第2文以降に2003年のsurvey「調査」についての言及があり、第4文から正解がわかる。[英文] The majority of the noise ... is caused by ... ships → [正解肢] Ships are responsible for most of the noise ... の言い換えに注意。

(39) - 解答 ②

【質問の訳】 なぜ科学者たちは海中の騒音のことを懸念しているのか。

【選択肢の訳】 1 クジラが人間と意思疎通することが困難になっている。

2 ある海洋動物の行動が変化してきている。

3 船が別の船に衝突し、破損させている。

4 クジラがその海域にいるときにはソナーが機能しない。

【解説】 第3段落は Scientists fear ... で始まり、まず騒音に対する科学者の懸念の内容が書かれている。その上で One sign of the problem あるいは Another sign として、「船舶への衝突」や「生息海域からの離脱」が述べられており、これらを要約した 2 が正解。

(40) - 解答 ①

【質問の訳】 マイケル・ストッカーによると、解決策になるかもしれないことの1つは

【選択肢の訳】 1 人間が出す騒音を、動物に対するストレスがより少ないものにする。

2 クジラが通常、餌を食べるのに使う海域を人間が避ける。

3 動物が進む道を見つけるのを環境保護団体が助ける。

4 クジラにぶつかるのを避けるために船がソナーを使う。

【解説】 第4段落第2文から正解がわかる。同文では less harmful となっているが、その前文で人間の出す騒音が stressful であると言っており、ここでは less harmful = less stressful であるとわかる。

C 全文訳 過去に戻る

アメリカの北部諸州と南部諸州の間で起こった南北戦争は、1861年から1865年まで続いた。この戦争で最も重要な戦いはおそらく1863年のゲティスバーグの戦いであろう。この戦い以前は南軍が健闘していたが、ゲティスバーグでは惨敗を喫してしまった。この戦いは戦争のターニングポイントとなり、2年後には北軍が最終的に勝利した。

ペンシルベニア州にあるその戦跡は、現在はゲティスバーグ国立軍事公園の名で知られており、毎年何百万人もの人々が訪れる。最近公園の職員たちは、戦いが起こった時の状態に戦跡を復元する巨大プロジェクトに着手した。彼らは当時の地図や写真を研究し、戦場のどのような地勢的な特徴が戦いに影響を与えたのかを分析した。それから、戦場が実際にどのようにして繰り広げられたのかを観光客にも理解しやすくするには、どのような物を取り除けばよいかを決定した。

電柱やモーターを撤去するなどの理解しやすい決定事項もあるが、議論を呼んでいる決定事項もある。特に、多数の木を切り倒すことが計画に入っており、その中には樹齢100年を超えるものも含まれているのだ。戦いの当時に実際に生えていた「証人の木」として知られる樹木のみがそのたたずまいを残されることになる。このことが環境保護派の人々を怒らせた。どのように自然が発達してきているかもまた、歴史の一部であると彼らは言う。それだけでなく、戦跡を正確に復元するには、現存する人間・道路・店舗をすべて取り除くしかないとも指摘している。

国立公園局の地区責任者のドン・バーガーは、自分には自然のみならず歴史も保存する責任があるのだと主張する。彼は戦跡のすべての部分を正確に当時の状態に戻すつもりはなく、むしろ戦いに影響を与えた自然の特徴を復元するつもりなのである。そうすることで戦跡の訪問者は、当時何が起こったかをはるかに明確に理解し、当時の兵士たちが経験したことに思いをはせることができるようになると、彼は信じている。

(41) - 解答 ①

質問の訳 ゲティスバーグの戦いは

- 選択肢の訳**
- 1 南北戦争の結果に重大な影響を及ぼした。
 - 2 戦争のターニングポイントの2年後に起こった。
 - 3 1863年から南北戦争の終結まで続いた。
 - 4 南軍の戦争における最大の成功であった。

解説 本文の具体的な記述が、正解の選択肢では要約された表現に言い換えられている。第1段落をよく読み、特にその末文 The battle was a turning point ... といった表現に注目して文脈をつかもう。

(42) - 解答 ③

質問の訳 ゲティスバーグ国立軍事公園の職員たちは何がしたいのか。

- 選択肢の訳**
- 1 戦場の写真を、それが変化する前に撮影する。
 - 2 観光客が戦跡を歩くことを阻止する。
 - 3 戦跡を戦いの当時の状態に近づける。
 - 4 公園を実際に戦いが行われた場所へ移動させる。

解説 第2段落第2文から正解がわかる。同文と正解を比較してどう言い換えられているかを確認しておこう。正解選択肢の make the site ~ 「その戦跡を~(の状態)にする」の構文は第2文では return the site to ~ の形になっている。

(43) - 解答 ④

質問の訳 計画の批判者たちはどう考えているのか。

- 選択肢の訳**
- 1 電柱とモーターはとても便利なので撤去すべきではない。
 - 2 もっと多くの人々、道路、店を公園内に許可するべきである。
 - 3 「証人の木」は100年たった後に切り倒すべきである。
 - 4 その戦い以降に生育してきた樹木もまた歴史の一部である。

解説 第3段落の内容をまとめたものが正解文となっている。第1文「議論を呼んでいる決定事項もある」→第2~3文「一部を除いて、樹齢100年を超えるものを含む多数の木を切り倒す」→第4文「このことが環境保護派を怒らせた。彼らが言うには~」という流れをしっかりと把握しよう。

(44) - 解答 ①

質問の訳 ドン・バーガーによれば

- 選択肢の訳**
- 1 計画の目的は、ゲティスバーグで起こった事態を人々が想像する手助けをすることである。

- 2 訪問者は戦跡を元の状態に回復するのを手伝う責任がある。
- 3 ゲティスバーグの自然の特徴の多くが戦いの中で破壊されてしまった。
- 4 「証人の木」を切り倒す理由は、人々がもっとはっきり見えるようにするためである。

解説 文中に Don Barger の名前を探すと第4段落の冒頭にあり、この文から彼が何者なのかがわかる。続く第2文に計画の狙いが書かれており、第3文でより具体的に説明されている。[英文] allow visitors to the site to understand ... → [正解肢] help people imagine what ... の言い換えに注意。

(45) - 解答 2

質問の訳 以下の記述のうち正しいものはどれか。

- 選択肢の訳**
- 1 国立公園局は最近ゲティスバーグの戦跡を売却した。
 - 2 公園の職員たちは取り除くべき物を決めるのに古地図を利用した。
 - 3 計画が終了した後は、公園には1本の木も残されない。
 - 4 自然の保全をすることはドン・バーガーの仕事ではない。

解説 第2段落第3文から正解がわかる。3は第3段落第3文の一部を利用した誤答。4は第4段落第1文の内容と矛盾する。1のような記述は英文中がない。